

「播磨町都市計画マスタープラン（立地適正化計画）[素案]」に係るパブリックコメント（意見募集）実施結果

1 意見募集期間

令和7年12月8日（月曜日）から令和8年1月7日（水曜日）まで

2 意見募集資料の配架場所

播磨町役場第1庁舎1階情報コーナー及び2階都市計画課窓口、播磨町中央公民館、各コミュニティセンター、土山駅南交流スペース（きつずなホール）

3 提出方法

都市計画課窓口への持参、郵送、FAX 又は電子メール

4 意見の提出数

1人（2件）電子メール

5 意見の概要と町の考え方

A:計画等に反映させるもの	
B:今後の施策・事業の参考とするもの	2件
C:計画等に反映済のもの	
D:感想や質問など	
E:計画等に反映できないもの	

番号	ご意見内容	ご意見に対する町の考え方	区分
1	<p>ページ番号：136 ページ</p> <p>具体的な箇所：まちづくり活動の主体づくり</p> <p>意見の内容：記載にもある通り、まちづくり活動において、自治会が様々な活動を担っている一方で、自治会役員の担い手不足が深刻化していると感じています。ボランティアなど新たな形態での担い手の育成を図ると同時に、現状の活動の簡素化を町主導でも進めて頂けたらと考えます。</p> <p>具体的には、</p> <p>①月1回の町広報誌の地区内各家庭への配布(ネットが普及し、HPからも閲覧出来ることから、基本はネット閲覧とし、従来の紙媒体を希望する方には、例えば、役場や土山駅南交流スペース等に設置し、取りに来て頂く。または、ごみ回収の予定表など、多くの方が利用する案内文など必要最低限の配布は維持)</p> <p>②地区の公民館、公園などの清掃活動について、民間清掃業者の斡旋や、経費の一部補助を実施。</p> <p>③自治会ごとでは無く、役割の平準化、可視化を進める為に、ある程度統一されたマニュアルの策定(自治会の役割・具体的な仕事や進め方)</p> <p>その過程で、本当に必要なものか、効率的な方法はないかを検討する機会を設ける。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>自治会はまちづくり活動において重要な役割を担っております。特に、自治会役員の方は、町と各自治会を繋ぐ大切な役割を担ってくださり、大変感謝しております。</p> <p>IT 技術の活用や活動内容の見直しなどは、自治会活動にも取り入れておりますが、ご提案内容も参考にさせていただき、今後も各地域の特性を活かした持続可能な自治会活動が運営できるように、町として引き続き支援いたします。</p> <p>なお、自治会活動が円滑になるように播磨町自治会連合会で、自治会運営の手引きを作成しておりますので、そちらもご活用ください。</p>	B

2	<p>ページ番号：49 ページ</p> <p>具体的な箇所：誰もが円滑に移動できる連携軸と回遊軸</p> <p>意見の内容：現状も喜瀬川や水田川沿いの遊歩道や、石ヶ池・北池などの、ため池周遊道、沿岸部など、自然と町が融合した回遊軸が整備されていると考えます。これらは播磨町の大きな財産であり、内外に発信できる大きな魅力であることから、さらに積極的にアピール、推進すれば良いのではと考えます。</p> <p>具体的には、</p> <p>①内容：[町内てくてくウォーク] を定期的に関催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺の野鳥や草木の自然を感じたり、大中遺跡などの歴史を感じるコース ・町内には、個人営業のカフェやパン屋など魅力的な店も多くあり、それら個人商店の協力のもとで、散歩+食事を楽しむコース(例えば、ウォーキングの途中で、パン屋に立ち寄り、その後公園での休息時に食べるなど) ・防災訓練を念頭に、町内避難施設を周るコース <p>目的：住民同士の交流促進、町の魅力を再発見、町内産業の活性化、防災意識の向上</p> <p>②内容：「住民散歩率日本一(仮)」などの目標を設定し、(何をもって日本一とするかは難しいと思いますが、例えば現在も一部で利用されている、Vitality アプリをさらに活用する)町全体として、散歩(ウォーキング)を推奨し、町おこしを行う。</p> <p>①の様な企画やそれと並行し、道路整備など、住みやすいまちづくりを推進する。</p> <p>目的：インパクトのある目標を設定し、達成を目指すことで、町内外に播磨町の良さ(安心して歩きやすい、過ごしやすい環境)をアピールし、町に活気と人を呼び込む。また歩行は心身の健康に良いとされており、老若男女問わず住民の健康維持、さらに多くの方が町内を散歩することでの、交流機会の増加、一定の防犯効果を生む。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>播磨町には、ため池や河川など自然的な地域資源が豊富にあります。本都市計画マスタープランにおいても、自然に触れながら散策できる水と緑の回遊軸を将来都市構造の1つとして位置付けております。</p> <p>また、自然的な地域資源については、憩いや健康づくりの場としてのみならず、住民の交流や地域学習、防災など多様な観点から活用できる貴重な財産です。既存の回遊軸を活かしながら、ご提案内容も含めて、まちの財産を生かした、魅力あるまちづくりを進めてまいります。</p>	B
---	---	--	---